

校番 36	福山市立神辺西中学校
-------	------------

1 学校教育目標

豊かな心と表現力を養い、仲間と共に未来を創造できるたくましい生徒の育成

2 経営理念

(1) 地域社会における自校の使命(ミッション)

平成12年の問題行動多発による学校不振克服のために、平成13・14年度の生徒指導加配と15・16年度県生徒指導推進校・生徒指導重点校指定を受けて問題行動の克服に努めてきた。今日では「明るく落ち着いた雰囲気のある学校」と一定の評価を受けるようになってきた。しかし、表現力不足に起因するいじめや不登校の増加現象及び自ら意欲的に学び取る力(表現力)の育成を通しての基礎・基本学力の定着・向上と道徳教育活動により豊かな心の育成が使命である。

(2) 使命の追求を通じて実現しようとする自校の将来像(ビジョン)

本校教育目標を実現するための五つの生き方の高揚と具現化を図ることが、本校の将来像である。

1. 人間尊重の精神をつらぬく生き方ができる。(花いっぱい運動・あはつ運動・合宿・体育祭・文化祭)
2. 正義を愛し、ともに磨きあう連帯感のみなざる生き方ができる。(生徒委員会活動・部活動・交通安全教室)
3. 真理を探究し、科学的思考を求める生き方ができる。(科学的根拠を明示した表参道・少人数指導による基礎学力の定着向上)
4. 責任を重んじ、勤労を尊ぶ生き方ができる。(職場訪問・体験活動・清掃活動)
5. 民主社会に貢献できる生き方ができる。(福祉体験学習・地域事へのボランティア参加活動)

3 自校の現状分析

基礎・基本の学力定着化については、昨年度の基礎・基本学力定着状況調査において県平均通過率に届かず、依然として課題が継続している。また、不登校生徒減少の取り組みについても一昨年度は10名、昨年度は40%減を目指したが、結果は20%減の8名に終わった。さらに、道徳教育の充実についての取り組みにおいては、課題項目について重点的に改善した取り組みを実施したが、生徒の意見発表がまだまだ少なく、意見発表を促進する教材の作成など課題が残っている。

今後、全教育活動の根底に「ことばの教育」を基本土台として、基礎・基本学力の定着・向上及び不登校生徒の減少や道徳教育の充実を一層図っていく必要がある。

4 研究主題

(1) 研究主題

個性を伸ばす豊かな表現力の育成  
自己意志の根拠を明示できる表現活動の創造

(2) 研究指定

指 定	事 業 名 等	期 間
市	少人数指導推進支援事業(数学)	平成19年度
市	教育研究支援事業(道徳)	平成18・19年度
県	不登校児童・生徒支援モデル事業	平成19年度

5 今年度の重点目標と設定理由

重点目標	設定理由
自己意志の根拠を明示できる 表現活動の創造	基礎基本学力の定着・向上をめざした取り組みを継続してきたが、平成16年度は県平均を若干上回ったが、17年度は県平均に届かず、少人数学習指導とドリル学習にて学力定着・向上を図る。また平成17年度にはいじめの多発と不登校生徒の増加現象をきたし、道徳心情と判断力を高めることによって豊かな心の育成を図り、いじめの克服に努めるとともに不登校生徒支援専門員との連携を強化して不登校生徒の減少に努めなければならない。いずれにしても、根拠を明確にした自己意志表現能力の育成を図るなかで、学習意欲の喚起と道徳性の涵養を図らなければならない。

6 評価基準

評価	評価基準	
A	80%以上の達成度	目標を達成できた
B	60%以上、80%未満の達成度	概ね目標を達成できた
C	40%以上、60%未満の達成度	あまり目標を達成できなかった
D	40%未満の達成度	目標を達成できなかった

## 7 目標・評価項目の設定と評価(案)

市重点 目標	中期経営目標	短期経営目標	評価項目	分類	( ) 評価	短期経営目標の達成状況 及び 次年度の改善方策
確 か な 学 力	授業の質を高める授業 づくり ことばの教育の充実	・校内授業研究の充実	授業づくりのための校内授業研究を年2回 行う。	継続		
			校外の教育研究会に1回以上参加する。	継続		
		・基礎・基本の定着を図る。	年2回の校内検定を行い,通過率70%以上 を目指す。	重点 継続		
			学習課題の点検を毎日行う。	新規		
		・表現力の向上を図る。	年間4本以上の作品(作文、俳句等)を書か せる。	新規		
			授業における発言の仕方に関するマニユア ルづくりを行う。	新規		
			学活の中で自分の思いを要領よく述べる場 を1人3回以上設定する。	新規		

市重点 目 標	中期経営目標	短期経営目標	評 価 項 目	分類	( ) 評価	短期経営目標の達成状況 及び 次年度の改善方策
豊 か な 心	子どもの心に響く道徳教育 子どもの自律を育成する生徒指導 たくましく生きるための健康・体力づくり	・生徒の表現力を高める道徳教育を実施する。	生徒の表現力を高めるために、ワークシートを活用する。	新規		
			道徳の校内研究授業を年2回以上おこなう。	継続		
			福祉体験学習を全学年で行う。	継続		
			全校清掃,「花いっぱい運動」を学期1回以上行う。	継続		
		・規律ある学校生活に向けた生徒指導と生徒会活動の活性化を推進する。	月2回の生徒指導部会や不登校対策部会を開催する。	重点継続		
			チャイム着席を100%にする。	新規		
			1人5回の教育相談を行い、生徒理解を深める。	継続		
			委員会活動を活発化し、月1回の朝会で報告させる。	継続		
		・健康と体力・運動能力を増進する。	体育授業を通し、持久力を体力テストの結果より平均15秒向上させる。	継続		
			保健だよりを月2回発行し、健康に関する興味・関心を高める。	継続		
			学校保健委員会を年2回開催する。	継続		

市重点 目 標	中期経営目標	短期経営目標	評 価 項 目	分類	( ) 評価	短期経営目標の達成状況 及び 次年度の改善方策
力量ある教職員	専門性を高める福山市 研修センターでの各種 研修 特色ある教育活動を推 進する各学校の校内研 修 教育研究団体を核に取 り組む自主研修	・個々の課題を把握し、研修をおこなう。	年間を通じて各教職員が1回は研修講座等 に参加する。	継続		
			自己課題を持って研究授業を年間1人1回 はおこなう。	継続		
		・研修内容の共有化。	各研修に参加した場合には報告書を作成し、 報告会を月1回行う。	継続		
市民から信頼される学校	校長を中心として組織 的におこなう学校マネ ジメント 開かれた学校づくり	・校長の経営ビジョンの徹底。	学校経営ビジョンを達成させるために、具体 的手立てを面接指導を通して自己申告書に 記入させる。	継続		
			各部方針のチェックを毎月行う	新規		
		・積極的な情報公開とアカウンタビリティ の徹底。	年間を通して学年通信を月2回発行する。	継続		
			月1回HPの更新〔学年通信、行事予定等〕 また、行事の様子等の細かい情報提供を行 う。	継続		
・保護者の学校行事への積極的参加を推進 する。	学校行事やPTA活動等への保護者の出席 数を把握して、周知方法を工夫して60%以 上の参加率を目標とする。	継続				